

定期報告書

西暦 年 月 日

都道府県知事 殿

農場名 : _____

住所 : _____

電子メール : _____

(電話番号 : - -) _____

(FAX : - -) _____

家畜伝染病予防法第12条の4 第1項の規定により、以下のとおり報告します。
 別紙「個人情報の取扱い」に記載された内容について同意します。

1. 基本情報

家畜の所有者の氏名	
家畜の所有者の住所	郵便番号 - _____
家畜の所有者の連絡先	電子Mail : _____
	携帯電話番号 : _____
	(電話番号 : - -) _____
	(FAX : - -) _____
飼養衛生管理者の氏名	
飼養衛生管理者の住所	郵便番号 - _____
飼養衛生管理者の連絡先	電子Mail : _____
	携帯電話番号 : _____
	(電話番号 : - -) _____
	(FAX : - -) _____
飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所	郵便番号 - _____

【定期報告書(1. 基本情報) 記入方法】

オモテ面だけに、当所で把握済みの情報を記載しています。

変更・訂正がありましたら、記載された内容を取り消し線で消していただき、新しい内容を記入ください。
 また、空白となっている項目は、記入ください。
 携帯電話・電子メール・FAXがある場合、必ず記載ください。
 提出した日付を、右上に記入してください。

「個人情報の取扱いについて」をお読みになり、内容について同意する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。

家畜の所有者の情報を記入

飼養衛生管理者の情報を記入
 所有者と同一の場合は「同上」と記入してください

法人名で記載されている農場におかれましては、個人を選任いただき、その方の情報に修正してください。

「飼養衛生管理者」
 ・日頃から農場の管理に携わり、現状を把握している個人の氏名を記入してください。法人は不可
 ・家畜の所有者が兼ねることができます

農場（衛生管理区域）の住所を記入
 所有者や飼養衛生管理者の住所と同じ場合には省略可能です
 （「所有者住所と同じ」等と記入してください。）

【定期報告書（1. 基本情報） 記入方法】

家畜の種類 及び頭羽数	乳用雌牛	成牛	育成牛	子牛			
		頭	頭	頭			
	肥育牛 (乳用種の雄牛 及び交雑種の牛 を除く。)	成牛 (肥育後期の牛)	肥育前期の牛	育成牛	子牛		
		頭	頭	頭	頭		
	黒毛和牛 肥育牛 (乳用種の雄牛 及び交雑種の牛 に限る。)	成牛 (肥育後期の牛)	肥育前期の牛	育成牛	子牛		
		頭	頭	頭	頭		
	F1など	成牛(雄)	成牛(雌)	育成牛	子牛		
	肉用繁殖牛	頭	頭	頭	頭		
	豚	繁殖豚			肥育豚 (子豚を除く。)	子豚	頭
		雄豚	母豚	育成豚			
鶏	採卵鶏		肉用鶏				
	成鶏	育成鶏					羽
馬その他	馬	その他 ()	その他 ()	その他 ()	その他 ()	頭	
	頭	頭(羽)	頭(羽)	頭(羽)	頭(羽)	頭(羽)	
畜舎等の数	畜舎	ふ卵舎					
	舎	舎					

2月1日現在の、家畜の飼養頭数を記入してください。飼養していない家畜には、ゼロや斜線を記入してください。

山羊やだちょうなど、記入欄がない家畜は、その他（ ）内に、種類を記入してください。

①～③の方は、「滋賀県独自調査票」に記入し、併せて報告ください

- ①乳用種の雌を飼養されている方
- ②肥育牛（乳用種の雄、交雑種（F1））を飼養されている方
- ③肉用繁殖牛を飼養されている方

「家畜の種類及び頭羽数」について

「乳用雌牛」：「成牛」月齢が満24月以上、「育成牛」月齢満4月以上満24月未満、「子牛」日齢が満10日以上で月齢が満4月未満。

「肥育牛（乳用種の雄牛及び交雑種の牛を除く。）」：「成牛（肥育後期の牛）」月齢満24月以上、「肥育前期の牛」月齢が満9月以上満24月未満、「育成牛」月齢満4月以上満9月未満、「子牛」とは月齢が満4月未満。

「肥育牛（乳用種の雄牛及び交雑種の牛に限る。）」：「成牛（肥育後期の牛）」月齢満17月以上、「肥育前期の牛」月齢が満7月以上満17月未満、「育成牛」月齢満4月以上満7月未満、「子牛」月齢が満4月未満。

「肉用繁殖牛」：「成牛」月齢が満24月以上、「育成牛」月齢が満4月以上満24月未満、「子牛」月齢満4月未満。

「子豚」：離乳した豚であって月齢が満3月未満。

「繁殖豚」の「雄豚」及び「雌豚」：月齢が満12月以上。

「繁殖豚」の「育成豚」：月齢が満3月以上満12月未満。

「採卵鶏」の「成鶏」：日齢満150日以上。

「採卵鶏」の「育成鶏」：日齢満150日未満。

「家畜の種類及び頭羽数」の「その他（ ）」の欄には、水牛、鹿、めん羊、山羊、いのしし、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥及び七面鳥のうち、その種類ごとに該当するものを括弧内に記入の上、その頭数（羽数）を記入。

畜舎やふ卵舎の数も、忘れず記入してください。

1-2. その他の飼養衛生管理者		(別紙)	
飼養衛生管理者の氏名			
飼養衛生管理者の住所	郵便番号	-	
飼養衛生管理者の連絡先	電子メール	:	
	携帯電話番号	:	
	(電話番号)	:)
	(FAX)	:)
飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所	郵便番号	-	

飼養衛生管理者の氏名			
飼養衛生管理者の住所	郵便番号	-	
飼養衛生管理者の連絡先	電子メール	:	
	携帯電話番号	:	
	(電話番号)	:)
	(FAX)	:)
飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所	郵便番号	-	

飼養衛生管理者の氏名			
飼養衛生管理者の住所	郵便番号	-	
飼養衛生管理者の連絡先	電子メール	:	
	携帯電話番号	:	
	(電話番号)	:)
	(FAX)	:)
飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所	郵便番号	-	

【定期報告書（1-2. その他の飼養衛生管理者）記入方法】

これらの様式は飼養衛生管理者が複数いる場合に、提出が必要です

大規模農場については、畜舎毎に、担当の飼養衛生管理者を配置することが規定されています（馬を除く。）

大規模農場の定義（畜種毎の飼養頭数の基準）

- ① 成牛（次のイ・ロに該当するもの）の場合 200 頭以上
 イ 月齢が満 17 月以上の肥育牛
 （乳用種の雄牛・交雑種の牛に限る。）
 ロ 月齢が満 24 月以上のその他の牛
- ② 育成牛等（次のイ・ロに該当するもの）の場合 3,000 頭以上
 イ 月齢が満 4 月以上満 17 月未満の肥育牛
 （乳用種の雄牛・交雑種の牛に限る。）
 ロ 月齢が満 4 月以上満 24 月未満のその他の牛
- ③ 水牛・馬の場合 200 頭以上
- ④ 鹿・めん羊・山羊・豚・いのししの場合 3,000 頭以上
- ⑤ 鶏・うずらの場合 10 万羽以上
- ⑥ あひる・きじ・だちょう・ほろほろ鳥・七面鳥の場合 1 万羽以上

同一の方が複数の畜舎を管理する場合は、牛の場合、成牛（※）で200頭/人を超えないこととされています！
 （※：和牛24か月以上、交雑種・乳用種については17か月以上）

農場名：			
I 家畜防疫に関する基本事項			家畜防疫員 チェック ボックス
1 家畜の所有者の責務			
①関係法令を遵守している。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
記入欄 内容を理解している関係法令： ・家畜伝染病予防法 ・飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律 ・獣医師法 ・家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律 ・水質汚濁防止法 ・悪臭防止法 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・牛海綿状脳症対策特別措置法 ・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 ・化製場等に関する法律			
②農場の所在地域で飼養されている家畜の所有者その他の畜産関係者と協力して衛生管理の意識を高め、衛生管理を行っている。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
記入欄（はいの場合） 協力者：地域の他の家畜の所有者（飼養衛生管理者） 市町村 地域自衛防疫団体 その他（ ）			
③（所有者以外に飼養衛生管理者がある場合）飼養衛生管理者と常時連絡可能な体制を確保し、本基準に規定される取組について当該飼養衛生管理者に実施させている。	該当しない	はい	いいえ
記入欄（はいの場合） 連絡体制：携帯電話 事務所電話 メール FAX その他（ ） 記入欄（今後の改善方針）			
家畜防疫員記入欄（改善指導の内容、指導年月日）			
2 家畜防疫に関する最新情報の把握及び衛生管理の実践			
①家畜保健衛生所等から提供される情報を必ず確認している。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
記入欄（はいの場合） 情報の把握方法：メール 広報誌 FAX ウェブサイト その他（ ）			
②家畜保健衛生所等が開催する家畜衛生に関する講習会への参加、農林水産省のウェブサイトの閲覧等を通じて、家畜防疫に関する情報を積極的に把握している。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
記入欄（はいの場合）			

【定期報告書（2. 飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況） 記入方法】

1. 提出日時点における飼養衛生管理基準の遵守状況について、各項目に「はい」、「いいえ」、「該当しない」のいずれかに○をつけてください
記入欄がある項目については、あてはまる項目に○をつけるか、必要事項を記入してください
2. 前年度中に、家畜防疫員（家畜保健衛生所職員）が農場を巡回し、その時点での飼養衛生管理基準の遵守状況のチェックと、遵守できていない項目の改善について指導を行わせていただきました。
指導内容を確認いただき、「家畜防疫員チェックボックス」に「×」がついている項目について、改善措置を取られた場合は、「はい」に○をつけてください。
（改善措置を取られていない項目については、今後の改善方針を引き続きご検討ください）

【定期報告書 添付書類記入様式】も記入いただき、提出をお願いします

確認記録	
○年月日：	
○確認者（家畜の所有者・飼養衛生管理者・家畜防疫員・民間獣医師・その他（ ））	
氏名：	
○最終ページには「確認記録」欄が設けられています。 ○上の欄に、飼養衛生管理基準の遵守状況を確認した年月日と、 ○確認された方の氏名の記入をお願いします	

【提出期限】

- I：牛、水牛、馬、鹿、めん羊、山羊、豚、いのしし
令和6年4月15日まで
- II：鶏、あひる、うずら、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥、だちょう
令和6年6月15日まで